

第6回（仮称）下井草まちづくりラボ【グループワークの要約】

まちづくりのテーマ設定（関心ごと）	現状と整備課題（関心ごとを考えた理由）	検討方法（手がかり）	検討内容（対象者または具体的内容）	整備の可能性（知りたいこと）
（A）歩行者目線で安全な道づくり				
A1) 下井草駅周辺の安心して歩ける安全な道づくり ～早稲田通りの拡幅整備～	・旧早稲田通りは歩道が狭く、人、車、自転車が混在している ・比較的短期的にできそうな電柱を移設（撤去）する方法の検討	・調査	・パーソントリップ調査（車の出発点と目的地）	・旧早稲田通りを利用する車両の目的（通過交通または生活道路としての利用）
		・調査	・旧早稲田通りの通行の制限による他の道路への影響調査	・他の道路への影響（交通量の変化など）
		・調査	・地域住民のニーズ	・地域のニーズとして拡幅が必要なのか
		・計画の妥当性	・無電柱化の実現性（条件）	・条件が整えば、交通管理者である警察へ区から協力依頼は可能か
		・アンケート調査	・地権者の意向	・旧早稲田通りの拡幅に対する地域の人の意見
A2) 旧早稲田通りの一方通行化の検討	・一方通行化は、沿道の建築の建て替えをせず実施できる比較的短期的にできそうな手法 ・歩道に余裕が生まれ、バス待ちの人と歩行者が安全に利用できる	・先進事例の学習	・他地域の一方通行化の事例	
		・調査	・自動車の交通動態（各道路の交通量）	・旧早稲田通り以外に迂回できるルートがあるかどうか
		・シミュレーション	・まちをつくるゲームで下井草駅周辺を再現したい	・一方通行化したらどうなるか
		・社会実験	・一方通行化	・実際に歩行者の安全性はどうなるか
		・社会実験	・歩行者天国	・自動車の通行ルートはどうなるのか

まちづくりのテーマ設定（関心ごと）	現状と整備課題（関心ごとを考えた理由）	検討方法（手がかり）	検討内容（対象者または具体的内容）	整備の可能性（知りたいこと）
（B）便利で安全な交通結節点の実現				
B1) バスルート・バス停の位置の見直し ～旧早稲田通りの一方通行化を条件とする～	・バスルートの変更は、沿道の建築の建て替えをせず実施できる、比較的短期的にできそうな手法 ・住宅街を通過しない前提でルートを検討	・調査をしたい	・タクシーの交通動態	・タクシープールの必要性
B2) バスルート・バス停の位置の見直し ～現在の旧早稲田通りを条件とする～	・旧早稲田通りの歴史性を尊重し、現況を前提としたバスルートを検討 ・安心して歩くことができ、乗換えの利便性を高めるルートの検討	・シミュレーション	・グリーンスローモビリティ等の実証実験	・道路拡幅が困難な場合、一方通行やバスの小型化の可能性 ・バス運転手など人材不足について
B3) バスの乗降口の整備統一	・行く先別にバス停を統合し、利便性を高める ・きめ細かいユニバーサルデザイン	・先進事例の学習	・バス・タクシー等	・交通の動線など
		・調査	・ノンステップバスの導入率	・周辺住民の高齢化率との関係性
B4) 連続立体交差事業の可能性を検討		・調査	・鉄道立体化とまちづくり	・成功事例
		・先進事例の学習	・立川モノレールなど	・延伸できていない区間があるが、その理由
		・先進事例の学習	・パリ、ロンドン、ベルリンなどのヨーロッパの事例	

まちづくりのテーマ設定（関心ごと）	現状と整備課題（関心ごとを考えた理由）	検討方法（手がかり）	検討内容（対象者または具体的内容）	整備の可能性（知りたいこと）
（C）みどりをきっかけとして人、時代、みどり、生き物をつなぐまちづくり				
C1) 生き物緑地と木陰ベンチ	・多様な生き物の生息環境となる緑陰に「木陰ベンチ」を設置し、身近で豊かな緑を保全する機運の醸成を図る ・グリーンマップを作成し、緑陰ルートおよび木陰休憩スポットをPR	・調査	・木陰や涼める場所調査	・樹木の位置(個人のものが行政のものか)
		・社会実験	・みどりのガイドツアー	
		・制度の詳細	・みどりの手入れ、維持、管理	・やりやすいための制度や規制の緩和
		・制度の詳細	・団体の成り立ち（他の自治体も含めて）	・公園ワークショップの話を聞かせて欲しい
C2) 農地の保全活動	・農地やみどりの保全活動を推進するために、現在活動している団体と下井草まちづくりラボが連携し、みどりのガイドツアーをはじめとする啓発活動を展開 ・既存の緑の活用に関する制度を学ぶ	・先進事例の学習	・小田急線の事例	・民間、住民、行政の関わり方を知りたい

まちづくりのテーマ設定（関心ごと）	現状と整備課題（関心ごとを考えた理由）	検討方法（手がかり）	検討内容（対象者または具体的内容）	整備の可能性（知りたいこと）
(D) たくさんの個人が関わって、にぎわいのあるまちに				
D 1) 商店街の活性化	・一番街の個店が減少し危機感を感じている。近隣住民のためのにぎわいを継承するためにも「にぎわい」の定義を地域住民で共有	・先進事例の学習	・商店街の再生	・民間が関わる事例を知りたい。
D 2) 駅周辺を中心に暮らしやすく便利なまち	・住民が集まる拠点がほしい ・富士山のビューポイントは自慢			
D 3) たくさんの個人がまちに参加できるしくみ	・個人商店を継承するために、経営シェアやみどりの商店街づくりなど、多くの人が参加してにぎわいを再生	・社会実験 ・先進事例の学習	個人商店がまちに参加できるイベント	地下化や高架化で個人店が増えていく事例を知りたい。
D 4) だれでも使えるひろばのしくみづくり	・商店街や広場は、憩いのベンチやイベントを通じていつでも気軽に過ごせる場、自主サークルの活動の場			
D 5) 駅の周辺から上井草・井荻・下井草3駅をつなぐまちづくり	・3駅を結ぶ地下化上部（または高架下）および井草川緑道沿いに個人商店が立ち並ぶ街並み ・「井荻まちづくりラボ」と一緒にまちづくり活動推進	・先進事例の学習		下北沢ポーンストラックのスキーム
		・先進事例の学習		京王線新線新宿～幡ヶ谷の緑道のつくり方
D 6) 文化×美味しさ×運動を通じて、地域住民が幸せになるまちづくり	・例えば本屋を再生し文化の薫りのする街づくりの推進			

まちづくりのテーマ設定（関心ごと）	現状と整備課題（関心ごとを考えた理由）	検討方法（手がかり）	検討内容（対象者または具体的内容）	整備の可能性（知りたいこと）
(E) 線路跡地の活用の可能性を広げたい！～地下化によるメリットを検証したい～				
E 1) できれば鉄道を地下化にして公園（雨庭や防災機能）や緑地をつくる	・生き物の豊かな自然環境の創出をはじめとする緑化活動、田植え体験などを通じて楽しく過ごせる環境づくりを進めるために住民の協力が不可欠 ・電鉄会社の協力を得るためには、収益やステータスなどメリットが必要	・調査	・温暖化緩和の方策 ・樹幹率によるヒートアイランドの緩和	・緑の効用 ・建物や道の緑化手法
		・専門家のレクチャー	・緑の効用	
		・専門書に学ぶ	・調布の住民と専門家による著書	
E 2) 地下化による多面的な効果を検証する	・人口増加により商業施設や子育て関連施設の充実が期待できる ・地下化により南北の分断の解消、街並み景観の保全創出、公共的施設の充実など、多様な効果が期待できる	・調査	・影響調査	・高架化と地下化とどちらが地球温暖化抑制に寄与するか。（工事中も含めたCO2排出等）
		・専門家のレクチャー	・コスト	
		・先進事例の学習	・コスト	・東京都に、中井～新井薬師間の整備コストを訪ねたら、高架も地下もトントンだということだ。
		・先進事例の学習	・小田急電鉄	・どのような整備と経営によりペイするのか。 ・下井草の可能性を知りたい。
		・先進事例の学習	・目黒駅	・目黒駅は地下化が進み、線路のない街である。どうしてそれが可能だったのかを知りたい。
		・先進事例の学習	・西武鉄道	・沼袋～新井薬師における上部利用の予定。 ・井荻駅は、上と下にそれぞれ道があり選択肢がなかった。
	・アンケート調査	・地元の人	・跡地活用のアイデアや需要を知りたい。	